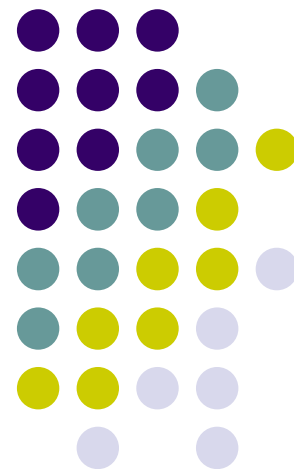


保険者機能と健保の役割

2013/4/17

デンソー健康保険組合

赤塚 俊昭



デンソー健保組合の概要

- 加入事業所・・・(株)デンソー、国内グループ会社
計53事業所
- 加入者数・・・被保険者7万人（平均39才）
被扶養者8万人
- 財政規模
・・・約350億円



デンソー健保HP



携帯サイト

QRコード



(株)デンソー 会社概要



設立 1949年12月16日

資本金 1,874 億円

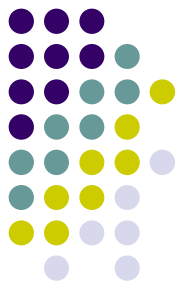
売上高 連結 3兆 1,546 億円
単独 2兆 316 億円

経常利益 連結 1,808 億円
単独 1,140 億円

従業員数 (就業人員ベース) 連結 126,036 名
単独 38,323 名

連結子会社数 188
(日本68、北米28、欧州35、豪亜51、その他6)

主な製品: ・自動車部品
・産業用ロボット・エコキュート・QRコード機器



1. 健康保険組合の役割(使命)

①QOLの向上:

健康寿命の伸長、予防医療

②給付の充実:

セーフティネットとして

心身の減損と経済的減損の支援

EX 法定給付、高額医療付加給付、出産一時金、傷病手当金、貸付

③財政の健全化:

増加する医療費の負担の適正化(抑制)

2. 健保組合の対応

… 保険者機能の発揮



① QOLの向上

健康増進

予防の推進

早期治療の促進(重症化防止)

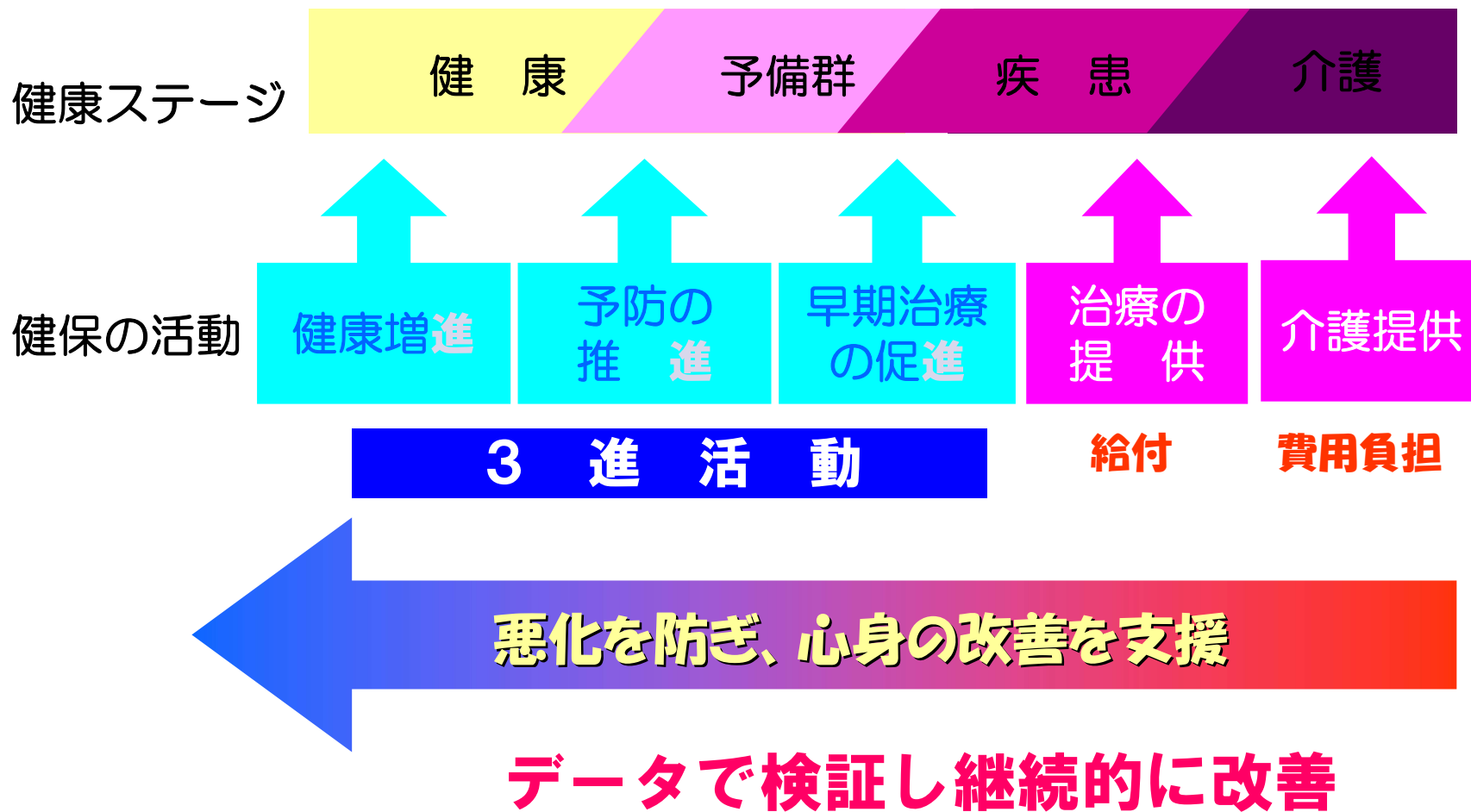
② 給付: 適正化(医療の効率化と不正抑制)

重症化防止

治療の適正化

請求の公正化(レセプト点検審査)

<参考>健康保険組合の機能と役割



2. 健保組合の対応

… 保険者機能の発揮



③ 財政：健全化と高齢者医療の支援

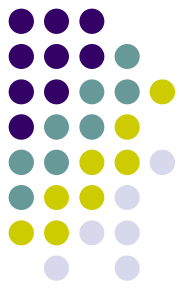
- ・健康づくりと医療給付の適正化で支出を低減
- ・高齢者医療支援 拠出金を負担

BUT 健保組合の財政は限界

- ・法定給付保険料の約50%負担
- ・高齢者医療費の負担割合：
公費3、自己負担2、保険者負担5の実態
→税と保険のあり方は是正

2. 健保組合の対応

… 保険者機能の発揮



④ 保険者機能の検証方法

- ・データとエビデンスで費用対効果を定量的に分析検証
PDCAサイクルで改善
- ・健保組合は検診と医療費のデータを持てる 唯一の機関

3. デンソー健保の事例

(IT化とデータ化による保険者機能の実践例)

① データで検証する保健事業展開

・ 健診と医療費突合分析(長期全数)

被扶養者7万人10年、
被保険者8万人20年の追跡突合分析

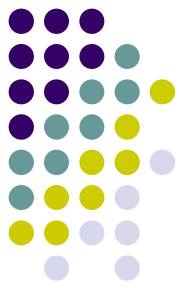
・ 歯科医科相関分析

被保険者7万人15年間分析

・ 保険事業参加者

ウォーキング 約1万人/年、 体力教室 約5千人/年、
インフルエンザ予防接種 2万人/年
健診受診率 80%





3. デンソー健保の事例

(IT化とデータ化による保険者機能の実践例)

② 医療の効率化とIT化

- ・領収書とレセ突合点検: 1%で百万円還付
- ・ジェネリック: 使用上位10品目で45%の金額寄与
- ・病診連携(関連総合病院のIT化事例)
医療情報のネットワーク構築
急性期、高度治療受け入れ (紹介)
慢性期、回復期、軽症外来(逆紹介)



3. デンソー健保の事例

(IT化とデータ化による保険者機能の実践例)

③会社と一体の健康づくり:健康経営

健康経営を経営指標化し全社展開

- ①経営収益に直結: 医療費・人件費・労働生産性
- ②職場のリスクマネジメント: 安全・品質・交通安全
- ③本人の心身健康: 能力進展・人材育成

参考 経営指標

従来: 1、収益と財務 2、CSと品質 3、グローバル化 4、CSRと環境

今後: + 5、健康経営

3. デンソー健保の事例

(IT化とデータ化による保険者機能の実践例)



④ IT化とデータ化の問題

- レセプトは国民医療データの全数収集が可能な唯一のもの O/L化でデータ化できる状況
- レセプトデータの限界
病名—診療内容—薬剤の紐付がない
レセプト様式見直しと医療データの分析可能化の早期実現が課題

4. 国民皆保険を支える 健保組合の社会的役割と問題



(1) 健保組合の社会的役割と機能

- ①国民(加入者)の健康を最も増進している
会社と従業員と健保 三位一体の保健事業
- ②医療費の適正化に取り組み、給付／人が最も低い
重症化防止と不正抑制
- ③若年者の医療費を抑え、高齢者の医療費を最も
支えている(高齢者医療拠出金は保険料の半額)

→国民皆保険に寄与

4. 国民皆保険を支える 健保組合の役割と問題



(2) 問題 ① 健保組合の存続の危機

- ・健保組合はトータル5,800億円の赤字(2013年予算ベース)
- ・財政破綻し、解散組合が増えている(毎年約10組合)

⇒ 健保自助努力の限界

- ・これ以上の拠出金負担の強化は
健保組合の機能を阻害し、解散促進につながる
- ・健保組合がなくなれば、
健康増進と医療費の抑制者が減り、
国民皆保険を支える財政の破綻につながる

4. 国民皆保険を支える 健保組合の役割と問題



(2) 問題 ② 保険者の統合、保険料一元化論

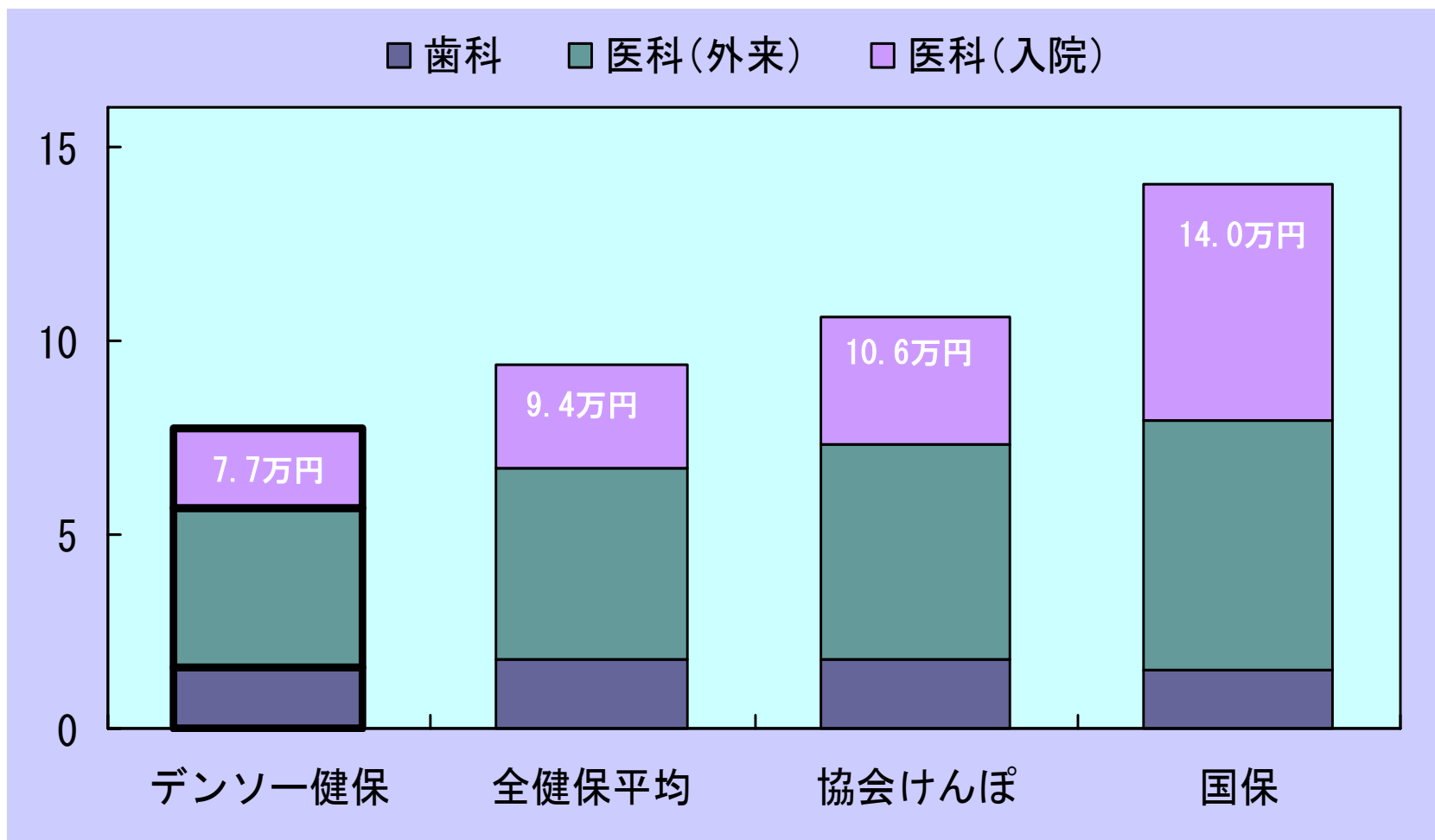
一元化は正しいか?: 給付と保険料は相関

- ・医療費／人の低い保険者は保険料率が低い
- ・保険料率と医療費は相関し、
努力した所は低く、努力が少ない所は高い
- ・自主自立自助、競争の原理、改善と努力が報われ
民間の活力を発揮する仕組みの存続が必要
- ・健保組合方式の存続は医療費の増加抑制と
皆保険維持に不可欠

保険者1人当りの医療費



2006年(高齢者医療制度発足前)・65才以上除く



5. 健保組合の存続の危機に対する 健保組合の主張



- 高齢者医療制度への公費の拡充
による拠出金負担の軽減
- 更なる医療費適正化の推進